第３回　学校運営協議会　報告

日時　12月16日（金）　16:00～17:10
場所　汐見台小学校家庭科室

次　第
1　会長あいさつ
2　学校長あいさつ
3　教育活動報告
4　意見交換
5　その他
6　終わりの言葉

今回は、地域と関わる教育活動として、第4学年の総合的な学習の様子を報告しました。その後、主に地域と子どもたちとの関わりについて意見交換をしました。

【協議会の中でのご意見等（抜粋）】

・子どもたちにデイサービスに来てもらい、ボディパーカッションを披露してもらい、利用者さんは元気をもらった。また、子どもたちが車いすなどの福祉体験も実施した。このようなつながりを大切にしたい。

・地域とのつながりを大切にしながら学校教育をすることの意義は大きい。来年度は森浅間神社でもいろいろな行事を子どもたちも巻き込んで取り組みたい。

・地域行事として今年は餅つきを行った。今はIHの家庭も多く、普段の生活で火を見ない子が多い。火のにおい、お餅のにおい、杵や臼を知ってほしいという思いで行った。本当の体験をしてほしいと思った。

・久良岐公園のリース作りに参加した。久良岐の自然を使い、自分で拾ったもので作って仕上げるというリースづくりで、家族だけではできない体験ができてよかった。

・さわやかクリーンデイでは、子どもたちにごみを捨ててはいけないことやきれいな街に愛着をもってほしいと思っている。さまざまな行事を細々とでも続けていくことが大切である。さわやかクリーンデイに大人だけでもいいので参加してもらいたい。また、学校と地域の懇談会も続けてもらいたい。

・自治会館の掃除は大人が多い。子どもが参加する掃除は今はやっていない。子ども会の役員の集まりも今は週末にやっている。七夕は願い事を書くだけでなくかざりも作った。

・防犯パトロールに親子で参加する家庭が増えてきた。学校教育では、子ども同士で関わる人間関係づくりの大切さを指導してほしい。

・運動会の6年生のソーラン節では、始まる時に会場が静まり、全校の注目を集める6年生の姿に威厳を感じた。6年生のすごさを低学年が肌で感じ、あこがれを抱いていると感じた。

・子どもたちは、コロナで友達と関わる機会を逃している。友達とのトラブルも成長のチャンスである。地域の人たちが関わりながら、子ども達の変化に気がつくことができるとよい。

コロナ禍は続く状況にありますが、今後もできることを模索しながら教育活動を行います。家庭や地域とのつながりを大切にしながら進めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。